

**業界初^{※1}のダブルAIと複眼放射センサーで学習精度を向上
「ノクリア[®]」Xシリーズ発売**
独自の「オーダーメイド快適[®]」を更にきめ細やかに実現

当社は業界初のエッジAI・クラウドAI連携に加え、床温度を検知する複眼放射センサーを新搭載することにより、快適な空間をより高精度に実現する「ダブルAI」を搭載したAIエアコン「nocria(ノクリア)」Xシリーズ(以下、Xシリーズ)を2019年11月上旬より発売します。

【新製品の特長】

1. ユーザーに合わせた「オーダーメイド快適」をさらにきめ細かく実現する「ダブルAI」と複眼放射センサー

新しいXシリーズに搭載のエッジAIは、データ収集に加え、クラウド上のAIと連携して学習も行います。エッジとクラウドの2つのAIが室温や湿度、操作履歴などに加えて、複眼放射センサーで床温度も学習し、これまで以上にユーザーの好みに応じた温度環境を作り出します。

2. 高精度な学習データに基づき airflow を先回りして吹き分ける「温度ムラ予測」機能

新搭載の複眼放射センサーは、日射などの影響により室内で寒暖の差が発生する場所を検知、その情報を気象情報などと併せて「ダブルAI」が学習し、お部屋に温度ムラができる時刻や場所を予測します。温度ムラが発生する前に airflow を吹き分けることで、室内全体を均一に快適にします。

3. もしもの時もすぐに修理を依頼できる「故障通知」機能

万が一の故障発生時にはスマートフォンに通知が入り、画面をワンタッチするだけで修理受付フォームに「機種名」「エラーコード」が自動で反映されるので、入力の手間の軽減や間違いの防止につながります。

XシリーズのAIは、当社が蓄積したエアコンに関するデータと、株式会社富士通研究所が30年以上研究している人工知能の技術を融合して開発しました。さらに、データ収集や学習、予測制御の役割を富士通株式会社のAI技術である「FUJITSU Human Centric AI Zinrai^{※2}」とXシリーズで分担・連携させることにより、高精度かつ高速なレスポンスを実現しています。当社は今後も、AI、IoT機能の活用を進め、更なる快適さを実現していきます。

※1 国内家庭用エアコンにおいて、エッジAIとクラウドAIを連携。2019年9月27日発表。(当社調べ)

※2 「Zinrai」は富士通株式会社の登録商標です。

* 「nocria」は株式会社富士通ゼネラルの世界的な商標です。

* 「ノクリア」「オーダーメイド快適」「デュアルブラスター」は、株式会社富士通ゼネラルの登録商標です。



「ノクリア」Xシリーズ：親しみやすさを表現したラウンドフォルムの室内機(左)とリモコン

お問い合わせ先

報道関係：広報IR室 <https://www.fujitsu-general.com/jp/contact/news.html>

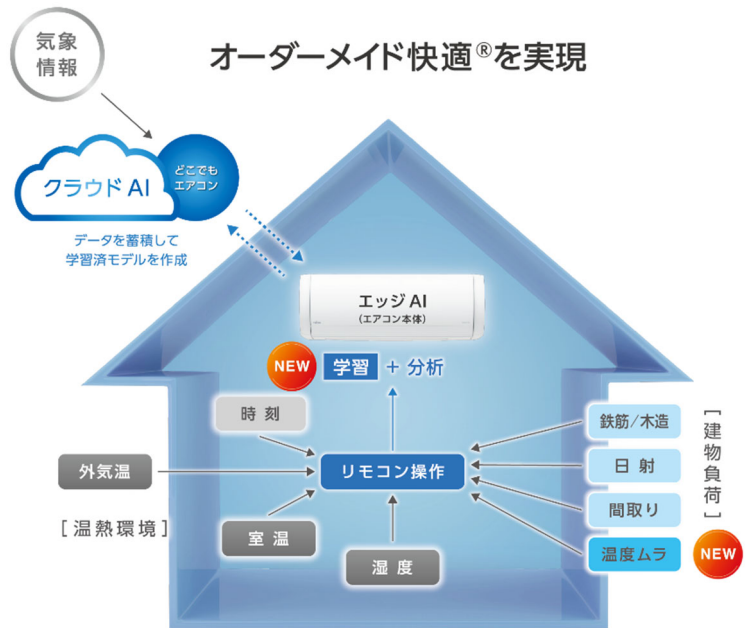
Xシリーズの主な特長

1. 2つのAIと複眼放射センサーが、更に高精度な予測運転を実施、ユーザー好みの「オーダーメイド快適」をきめ細かく実現

従来、エッジAIはデータの収集のみを行い、そのデータが転送されたクラウド上のAIが、過去のユーザー操作履歴を用いて、機械学習モデルを作成していました。

新しいXシリーズは、ユーザーによるリモコン操作や、室内の温湿度、部屋（建物）の暖まりやすさ、冷えやすさ、気象情報などといった様々なデータを、クラウドとエアコン本体に搭載の2つのAIが連携して学習します。

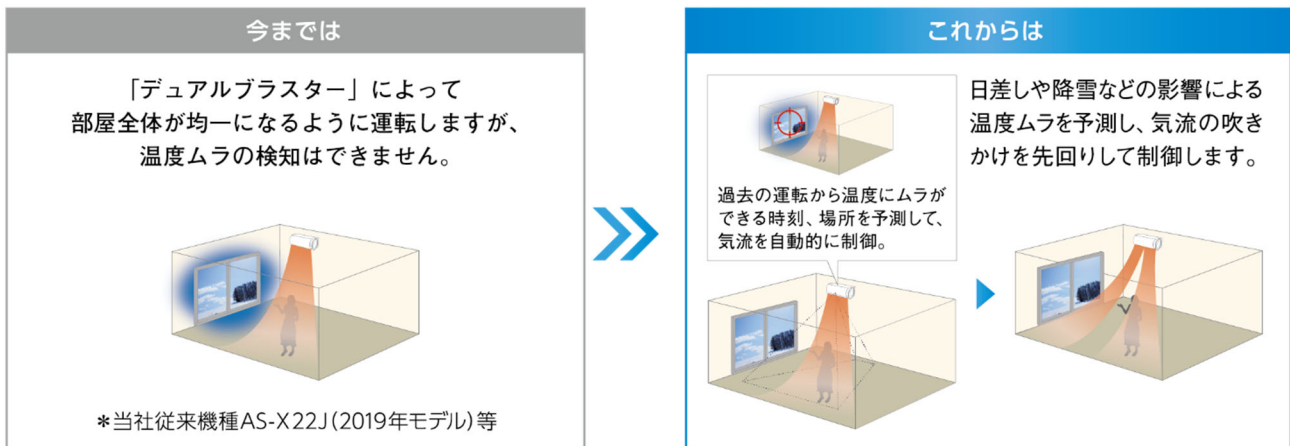
また、複眼放射センサーにより検知される室内の床温度も新たに学習に活用することで、ユーザーの好みや体感温度の予測精度がさらに高まりました。



2. 複眼放射センサーと「ダブルAI」が高精度な温度ムラ予測を実現、部屋中どこでもいつでも快適

Xシリーズに新搭載の複眼放射センサーは、日差しにより温度が高くなりがちな窓際など、室内の温度ムラが得意な場所を細かく検知します。複眼放射センサーにより収集されたデータと、ユーザーの過去の運転データ、気象情報などをAIが学習、建物環境や日射の影響などにより室内に温度ムラができる時刻、場所を予測し、自動的に気流を吹き分けます。温度ムラが発生する前に先回りして気流を吹き分けるため、不快な時間を作らずに室内全体をいつでも快適に保ちます。

■ 温度ムラ予測の仕組み



3. IoTを活用した故障通知機能搭載で、もしもの時も安心

専用アプリ「どこでもエアコン」をスマートフォンなどにダウンロードすることで、運転状況や電気代の確認、外出先からのオン/オフ、家族での稼働情報の共有（みまもり）といった便利な機能をご利用いただけます。さらに、Xシリーズに新たに搭載の故障通知機能では、故障発生時に「機種名」や「エラーコード」をスマートフォンに通知、修理受付フォームへ自動的に情報が反映されるので、すぐに修理を依頼することが可能です。

4. 高外気温でも制御可能な再熱除湿機能で、快適さを保ちつつ室内をしっかりと除湿

近年、床や壁、天井などに断熱材を用い、高い気密性を実現した高気密高断熱住宅が増加しています。室内の空気が逃げにくく、外の暑さ、寒さの影響を受けにくいといったメリットがある反面、エアコンの冷房使用時には設定温度への到達も早いいため、運転がすぐに弱冷房除湿に切り替わってしまい、室内に湿気がこもりやすいという問題点が

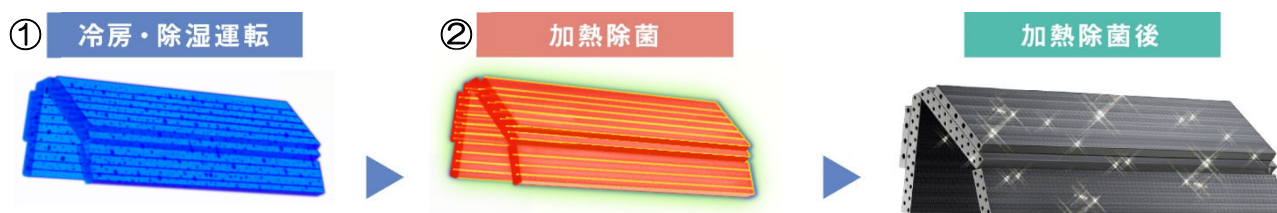
ありました。しかし、Xシリーズの再熱除湿機能は、設定温度に到達後も除湿量を低下させず、快適な温度を保ちながら室内をしっかりと除湿します。外気温 35℃まで制御可能で、真夏の冷房使用時にも安心してご利用いただけます。

5. 清潔さや快適性、利便性を実現する当社独自の機能も充実

Xシリーズには、エアコン内部の熱交換器を 55℃で 10 分間加熱することで、カビ菌や細菌の除去を行う当社の特許技術「熱交換器加熱除菌^{※3}」や、室温気流と冷暖房気流を制御し、暖房時は足元ポカポカ、冷房時は部屋の隅々まで冷気が行き渡る「デュアルブラスター[®]」を搭載、当社独自の清潔さや快適性を実現しています。

さらに、昨年度より採用の据え置き型のタッチパネル式リモコンは、手をかざすだけで画面表示や、運転の ON・OFF が可能です。また、Xシリーズには新たに 90 型を追加、大きな部屋（29 畳用）への対応が可能となり、より多くのお客様に X シリーズの快適さをご提案していきます。

■ 熱交換器加熱除菌の仕組み



- ①抗菌・防カビ^{※4} コーティングを施した「ハイドロフィリック熱交換器」により、熱交換器の水滴が汚れを包み込んで洗い流す。
- ②さらに熱交換器を 55℃で 10 分間加熱することで、残留した水分に含まれるカビ菌や細菌を「湿熱効果」で除去する。
(湿熱効果：水分を加熱してお湯の状態での除菌する効果)

※3 AS-X22K において。【試験方法】外気 27℃、湿度 78%の試験室（約 6 畳）において。

加熱除菌運転前と後との比較。10 分間で細菌 99%以上、カビ菌 99%以上の減少を確認（細菌一種、カビ菌五種で評価）。

【試験機関名】（一財）北里環境科学センター [報告書 No.] 北生発 2018_0225 号。熱交換器の一部の菌液を回収し評価。動作環境によって効果が低下する場合があります。ニオイや汚れを除去する機能ではありません。

※4 【試験機関名】（一社）京都微生物研究所【試験方法】抗菌試験は JIS Z2801 による。防カビ試験は JIS Z2911 による。【試験結果】抗菌・抗菌活性値 99%以上。防カビ・防カビ効果あり。【試験番号】8054、8055。ホコリや油汚れの多い環境でのご使用時には、熱交換器のクリーニングが必要となる場合があります。

主な仕様・発売予定日

品名	家庭用エアコン「nocria [®] （ノクリア）」								
シリーズ名	Xシリーズ								
形名	AS-X22K	AS-X25K	AS-X28K	AS-X40K2	AS-X56K2	AS-X63K2	AS-X71K2	AS-X80K2	AS-X90K2
電源	単相 100V	単相 100V	単相 100V	単相 200V	単相 200V	単相 200V	単相 200V	単相 200V	単相 200V
発売日	2019 年 11 月上旬								2019 年 12 月中旬
希望小売価格	オープン価格								